

事業番号	09 04 07	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課				
		実施期間	S25 ～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性								
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		2-5 地域に根差した産業の振興						

1 現状と課題

- ・河川湖沼では、外来魚やカワウ等による食害が多く、対応が求められている。また、漁協等の経営安定のために遊漁者の増加に向けた特徴ある漁場づくりが必要とされている。
- ・養殖業では、「信州サーモン」や「信州大王イワナ」をはじめとする地域特産魚の品質向上と安定生産が求められている。また、飼料等高騰によるコスト高により養殖業者の経営はひっ迫している。

2 事業目的

- ・本県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼における自然生態系の生産力を利用した水産資源の持続的有効利用及び漁場の活性化並びに消費者から求められる魚づくりで養殖業の安定生産を支援する。
- ・養魚用配合飼料の価格高騰による養殖業者の負担を軽減し、事業継続を支援する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①信州サーモン、信州大王イワナのブランド化に向けた種苗生産・供給
- ・実需者等のニーズに応えブランド化を図るため、信州サーモンと信州大王イワナの稚魚を生産し県内の養殖業者に安定供給する。
 - ・令和4年度は、信州サーモン40万尾、信州大王イワナ7万尾を生産する。
- ②カワウ等の食害防止に対する支援
- ・カワウやブラックバス等の外来魚等による魚の食害を防ぐため、漁協が行う追払いや駆除等の取組を支援する。
- ③養魚用配合飼料価格高騰緊急対策事業
- ・県内養殖業者に対し、配合飼料の価格高騰分の費用の一部を助成する。
 - ・国の配合飼料価格安定制度未加入者に対しては、加入を要件とすることで、本制度への加入促進を図る。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	信州ブランド魚の生産量	t	355	357	↗	431	↗	485	未達成	信州ブランド魚の生産拡大と県内養殖業の振興に向けて、食農計画に掲げる目標値を設定	
②	R4年までに対応する試験研究課題の達成率	%	40	60	↗	92	↗	100	未達成	水産資源の増殖及び養殖業の生産性向上等に向けた試験課題への対応状況を評価できる指標とし設定し、計画に掲げた全について技術開発するものとして設定	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	108,147	44,900	153,047	73,826	122,174	29.5
R3年度	0	92,833	0	92,833	51,803	86,943	29.5
R2年度	0	119,925	△ 1,182	118,743	77,271	112,798	29.5

事業番号	09 04 07	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水産振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課		

6 主な取組実績と成果

① 信州サーモン、信州大王イワナのブランド化に向けた種苗生産・供給

- ・令和4年度の信州サーモンの種苗供給量は37.2万尾であり、新型コロナウイルスの影響で令和2年度に落ち込んだ供給量が持ち直しつつある。
- ・令和4年度の信州大王イワナの種苗供給量は目標を上回る8.8万尾となった。



信州サーモンの出荷風景

② カワウ等の食害防止に対する支援

- ・県単の外來魚等食害防止対策事業により、外來魚対策9団体、カワウ対策6団体、ミンク対策1団体の取組を支援し、漁業被害防止対策を推進した。
- ・上記事業により、外來魚46,461尾、カワウ47羽、ミンク32頭の駆除に寄与した。

③ 養魚用配合飼料価格高騰緊急対策事業

- ・県内29養殖業者に対し、配合飼料の価格高騰分の費用の一部を助成し、養殖業者の経営安定に寄与した。
- ・国の配合飼料価格安定制度への加入率が8%（120業者中10業者）から24%（120業者中29業者）に上昇し、国の制度を活用した配合飼料価格高騰対策への道筋を見出した。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	信州ブランド魚の生産量	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成																
養殖業者が参加する信州サーモン振興協議会及び信州大王イワナ振興協議会の中で、歩留まり向上や魚病対策等の技術指導を実施し、生産量を増加させてきたが、新型コロナウイルスの影響を受けた観光需要の減少により、R2年度に大きく減少し、その後、持ち直したものの、目標の89%にとどまった。		<table border="1"> <caption>信州ブランド魚生産量（トン）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>生産量（トン）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>380</td></tr> <tr><td>H29</td><td>400</td></tr> <tr><td>H30</td><td>450</td></tr> <tr><td>R1</td><td>350</td></tr> <tr><td>R2</td><td>360</td></tr> <tr><td>R3</td><td>360</td></tr> <tr><td>R4</td><td>430</td></tr> </tbody> </table>						年度	生産量（トン）	H28	380	H29	400	H30	450	R1	350	R2	360	R3	360	R4	430
年度	生産量（トン）																						
H28	380																						
H29	400																						
H30	450																						
R1	350																						
R2	360																						
R3	360																						
R4	430																						
指標②	R4年までに対応する試験研究課題の達成率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成																
精度の高い試験研究及び最新知見等の情報収集により、H30年度からR4年度までの技術開発を目標として掲げた25課題中23課題について、開発又は実態把握ができたが、残り2課題については、新型コロナウイルス対策のための執務人数の制限により試験計画が遅延し、技術開発に至らず、目標の92%にとどまった。																							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・信州ブランド魚の供給が需要に追いついていない。 ・魚食性鳥類等による漁業被害が発生している。 ・高齢化による組合員の減少や遊漁者の減少、それらに伴う収入の減少により、漁協の弱体化が進行している。 ・R4年度までの技術開発を目標として掲げた試験課題25課題のうち、2課題は未達成であった。R5年度以降の課題として引き続き試験を実施していく。
(2) 翌年度以降の事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> ・信州ブランド魚の歩留まり向上や魚病対策等技術指導の強化に努めるとともに、冷凍加工技術の開発による商品の多様化やより早く成長する系統の開発等高品質化を図る。 ・漁協が行う魚食性鳥類等の追払いや駆除等の取組に対して引き続き支援を行っていくとともに、関係者が連携したカワウの広域対策を検討するなどにより、漁業被害の低減を図る。 ・漁協が観光関係者等と連携して行う、地域の特性を生かした魅力ある漁場づくりを支援し、組合員及び遊漁者の増加と漁協経営の安定化を図る。 ・儲かる養殖業の実現を目指し、科学的知見に基づく技術的支援を行うために、試験研究の着実な履行と更なる技術普及を図る。

事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	---------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	外来魚等食害防止対策事業	1,643 千円	1,538 千円	1,562 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	外来魚等食害防止対策推進事業	直接	・外来魚等食害防止対策事業を推進するため、調整等事務を行った。 随時
2	外来魚等食害防止対策事業	補助金	・外来魚等による漁業被害防止のため、漁協等が行う駆除や食害防止等に要する経費の助成を行った。 外来魚対策9団体、カワウ対策6団体、ミンク対策1団体

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	諏訪湖環境改善対策事業	34 千円	20 千円	6 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	漁場活性化のための取組検討	直接	・関係行政や市民団体等とともに諏訪湖の環境改善の活動の一環として、課題の把握や具体的取り組みの検討を目的とした推進会議に参画し、指導助言を行った。 推進会議への出席 5回

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	漁業指導事業	609 千円	1,301 千円	922 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	漁業指導調整事業	直接	・円滑な漁業調整を図るため、内水面漁場管理委員会を開催した。 ・適正な漁場管理を図るため、漁協の法令順守等を指導するとともに、漁協の経営改善に向けた講習会を開催した。 委員会の開催 3回 講習会の開催 1回
2	組合検査指導事業	直接	・健全な漁協運営を図るため、漁協の業務、会計状況の検査を実施した。 常例検査 27組合
3	漁場利用調整事業	直接	・円滑な漁業調整を図るための協議会は、漁業権者からの申し出がなかったため開催されなかった。

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	水産試験場運営費	66,929 千円	42,452 千円	59,263 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	水産試験場の円滑な運営	直接	水産試験場の保守及び維持管理、予算執行により円滑な運営を実施した。 随時	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	水産試験場試験研究費	15,676 千円	14,151 千円	16,632 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	増養殖技術の改良・確立	直接	(1) アユの疾病対策 (2) 渓流魚への温暖化緩和技術の開発 (3) 特定疾病対策研究 (4) ワカサギ等の遊漁利用技術開発 (5) マス類における重要疾病リスク管理技術開発 (1) 検査結果の通知 4業者 (2)、(4) 成果報告書の提出 (3) 疾病発生がなかったため、検査実績なし (5) ウイルス株の提供 1大学	
2	市場性の高い品種の開発	直接	(1) 信州ブランド魚の開発・品種改良 (2) 信州ブランド魚の高品質生産技術開発 (3) ニジマス海面飼育用種苗開発試験 (1) 育種素材の開発・保存 親魚候補 1魚種 (2) 信州大王イワナの冷凍加工技術開発 (3) 種苗提供 3機関・大学	
3	水産環境の保全	直接	(1) 外来種防除技術開発 (2) 諏訪湖有用水産資源増殖技術開発 (1) 外来藻類殺藻方法の開発 3手法 (2) 水産動物2種で開発に着手	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	水産試験場技術指導費	3,812 千円	3,168 千円	3,852 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	養殖漁業指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖業の発展を図るため、魚病診断・対策指導など安全・安心な魚づくりに関する指導及び養殖場巡回指導を行った。 ・養魚技術講習会を開催した。 魚病診断 44件 養殖場巡回指導 59件 養魚技術講習会 1回	
2	河川湖沼漁業指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・河川湖沼漁業の発展を図るため、外来魚対策など環境保全指導、増殖指導の普及や漁場管理の指導を行った。 ・漁場管理講習会を開催した。 漁業に関する指導 313件 漁場管理講習会（巡回教室） 1件	
3	寒天製造技術指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・良質な天然寒天の安定生産を図るため、製造期の指導、原藻の性状分析、製品等の依頼分析を行った。 製造期の指導 8件 原藻の性状分析 6件 製品等の依頼分析 158件	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	水産試験場種苗開発費	24,048 千円	24,266 千円	28,171 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ニジマス種苗供給	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、ニジマスバイテク種苗の供給を行った。 全雌・三倍体卵 183万粒 不要魚 900kg	
2	在来マス・信州サーモン種苗供給	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、下記種苗の供給を行った。 信州サーモン稚魚 37.2万尾 信州大王イワナ 8.8万尾 イワナ普通稚魚 5.5万尾 イワナ受精卵 1万粒	
3	シナノユキマス・フナ等種苗供給	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・河川湖沼における水産資源の増大、養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、下記種苗の供給を行った。 シナノユキマス：ふ化仔魚 80万尾 稚魚 5.7万尾 未成魚 1,585kg コイ科魚類：フナ親魚 1,352kg ウグイ受精卵 154万粒 ウグイ稚魚16.8万尾 ウグイ1年魚 241kg	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
8	養魚用配合飼料価格高騰緊急対策事業	0 千円	0 千円	11,766 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	配合飼料価格高騰分補填事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・県内養殖業者に対し、配合飼料の価格高騰分の費用の一部を助成した。 ・国の配合飼料価格安定制度未加入者に対しては、加入を要件とすることで、本制度への加入促進を図った。 配合飼料価格高騰への助成 29事業者 制度加入率8%→24%	